



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場会社名 科研製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4521 URL <http://www.kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 乾 四朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 遠藤 孝雄

TEL 03-5977-5002

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	66,087	0.2	12,036	15.0	11,707	15.9	7,007	14.8
22年3月期第3四半期	65,925	2.8	10,471	8.0	10,104	6.9	6,106	15.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	74.47	—
22年3月期第3四半期	62.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	102,596	59,017	57.5	644.37
22年3月期	95,096	59,575	62.6	619.66

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 59,017百万円 22年3月期 59,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
23年3月期	—	18.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,600	1.9	13,500	14.6	13,000	15.0	7,800	15.8	85.16

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 101,879,461株 22年3月期 101,879,461株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 10,289,712株 22年3月期 5,738,399株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 94,092,721株 22年3月期3Q 98,176,637株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1)連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)連結財政状態に関する定性的情報	2
(3)連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1)重要な子会社の異動の概要	3
(2)簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2)四半期連結損益計算書	6
(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4)継続企業の前提に関する注記	8
(5)セグメント情報	8
(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、薬価改定の影響がありましたが、主力の医薬品・医療機器が売上を伸ばし、売上高は 66,087 百万円(対前年同期比 0.2%増)となりました。売上原価率が改善したほか、研究開発費の発生時期のずれ等により販売費及び一般管理費が減少し、利益面につきましては、営業利益は 12,036 百万円(対前年同期比 15.0%増)、経常利益は 11,707 百万円(対前年同期比 15.9%増)、四半期純利益は 7,007 百万円(対前年同期比 14.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 薬業

医薬品・医療機器につきましては、主力品の関節機能改善剤「アルツ」が引き続き売上を伸ばし、癒着防止吸収性バリア「セプラフィルム」、後発医薬品も伸ばいたしました。しかし、経皮吸収型鎮痛消炎貼付剤「アドフィード」、慢性動脈閉塞症治療剤「プロサイリン」は減収となりました。

農業薬品につきましては減収となりました。

その結果、売上高は 64,246 百万円(対前年同期比 0.3%増)、セグメント利益(営業利益)は 10,950 百万円(対前年同期比 17.3%増)となりました。

なお、海外売上高は 1,347 百万円となりました。

② 不動産事業

不動産事業の主たる収入は文京グリーンコートの地代であります。売上高は 1,840 百万円(対前年同期比 0.4%減)、セグメント利益(営業利益)は 1,086 百万円(対前年同期比 4.1%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は 102,596 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 7,499 百万円の増加となりました。これは主に、売上債権の増加によるものであります。

負債は 43,578 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 8,057 百万円の増加となりました。これは主に、仕入債務の増加によるものであります。

また、純資産は 59,017 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 557 百万円の減少となりました。これは主に、自己株式の取得によるものであります。

自己資本比率は、57.5%(前連結会計年度末 62.6%)となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ 4,128 百万円減少し、13,375 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、6,998 百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、3,859 百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、7,267 百万円の支出となりました。これは主に、自己株式の取得と配当金の支払によるものであります。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月4日に発表いたしました業績予想は変更しておりません。

連結

	第3四半期累計期間（実績）	通期（予想）
売上高	660億円（対前年同期比 100.2%）	866億円（対前年同期比 101.9%）
営業利益	120億円（対前年同期比 115.0%）	135億円（対前年同期比 114.6%）
経常利益	117億円（対前年同期比 115.9%）	130億円（対前年同期比 115.0%）
四半期(当期)純利益	70億円（対前年同期比 114.8%）	78億円（対前年同期比 115.8%）

(参考)個別

	第3四半期累計期間（実績）	通期（予想）
売上高	646億円（対前年同期比 100.2%）	848億円（対前年同期比 102.0%）
営業利益	115億円（対前年同期比 115.6%）	128億円（対前年同期比 115.0%）
経常利益	112億円（対前年同期比 116.4%）	124億円（対前年同期比 115.2%）
四半期(当期)純利益	67億円（対前年同期比 115.2%）	75億円（対前年同期比 116.9%）

2. その他の情報

(1)重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2)簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

(たな卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産につきましては、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②特有の会計処理

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,170	9,900
受取手形及び売掛金	35,421	27,660
有価証券	6,205	7,603
商品及び製品	5,865	5,386
仕掛品	2,080	1,854
原材料及び貯蔵品	2,769	1,752
その他	2,432	2,672
貸倒引当金	△3	△7
流動資産合計	61,941	56,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,747	17,838
その他（純額）	10,398	7,405
有形固定資産合計	28,146	25,243
無形固定資産		
	335	391
投資その他の資産		
投資有価証券	5,107	5,445
その他	7,065	7,197
貸倒引当金	△0	△6
投資その他の資産合計	12,173	12,636
固定資産合計	40,655	38,272
資産合計	102,596	95,096

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,643	11,174
短期借入金	8,390	8,510
未払法人税等	2,620	2,061
引当金		
賞与引当金	658	1,141
その他の引当金	628	540
その他	6,995	5,430
流動負債合計	36,936	28,858
固定負債		
引当金		
退職給付引当金	5,617	5,678
その他の引当金	438	395
その他	586	588
固定負債合計	6,642	6,662
負債合計	43,578	35,521
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,587	11,587
利益剰余金	32,600	28,684
自己株式	△9,084	△4,999
株主資本合計	58,956	59,124
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60	447
繰延ヘッジ損益	—	2
評価・換算差額等合計	60	450
純資産合計	59,017	59,575
負債純資産合計	102,596	95,096

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	65,925	66,087
売上原価	33,994	33,263
売上総利益	31,930	32,823
販売費及び一般管理費		
販売促進費	891	942
給料	5,759	5,761
賞与及び賞与引当金繰入額	1,166	1,186
福利厚生費	836	846
退職給付費用	1,023	1,017
賃借料	1,165	1,094
旅費及び交通費	967	1,003
研究開発費	5,825	5,073
その他	3,822	3,860
販売費及び一般管理費合計	21,458	20,786
営業利益	10,471	12,036
営業外収益		
受取利息	13	12
受取配当金	87	87
その他	48	53
営業外収益合計	148	153
営業外費用		
支払利息	75	57
退職給付会計基準変更時差異の処理額	393	393
その他	45	31
営業外費用合計	515	482
経常利益	10,104	11,707
特別利益		
投資有価証券売却益	68	—
ゴルフ会員権償還益	26	—
貸倒引当金戻入額	—	4
その他	—	0
特別利益合計	95	4
特別損失		
固定資産除却損	104	136
ゴルフ会員権評価損	0	35
その他	—	0
特別損失合計	104	172
税金等調整前四半期純利益	10,095	11,540
法人税等	3,988	4,532
少数株主損益調整前四半期純利益	—	7,007
四半期純利益	6,106	7,007

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,095	11,540
減価償却費	1,791	1,803
長期前払費用償却額	91	55
退職給付引当金の増減額(△は減少)	492	298
受取利息及び受取配当金	△100	△100
支払利息	75	57
ゴルフ会員権評価損	0	35
投資有価証券売却損益(△は益)	△68	—
有形固定資産除却損	88	136
売上債権の増減額(△は増加)	△7,335	△7,760
たな卸資産の増減額(△は増加)	603	△1,722
仕入債務の増減額(△は減少)	3,932	6,469
未払消費税等の増減額(△は減少)	253	△175
その他	198	240
小計	10,118	10,880
利息及び配当金の受取額	102	100
利息の支払額	△75	△55
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△4,556	△3,927
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,589	6,998
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,031	△3,366
無形固定資産の取得による支出	△101	△107
投資有価証券の取得による支出	△331	△313
投資有価証券の売却による収入	325	—
投資有価証券の償還による収入	500	—
長期前払費用の取得による支出	△25	△139
その他	48	67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,617	△3,859
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600	—
短期借入金の返済による支出	—	△120
自己株式の純増減額(△は増加)	△714	△4,084
配当金の支払額	△2,719	△3,062
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,833	△7,267
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,137	△4,128
現金及び現金同等物の期首残高	12,556	17,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,694	13,375

(4)継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5)セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	64,075	1,849	65,925	—	65,925
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	230	230	(230)	—
計	64,075	2,079	66,155	(230)	65,925
営業利益	9,338	1,132	10,471	—	10,471

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。
2. 各事業の主要製品又は内容
薬業……………医薬品、農業薬品
不動産事業……………不動産賃貸、ビルメンテナンス他

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する支店及び連結子会社はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び連結子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているのであります。

当社グループは、医薬品、農業薬品の製造・販売及び不動産賃貸、ビルメンテナンス等の事業を営んでおり、業種別に事業に従事する経営スタイルを採用しております。また、各事業の運営は、事業ごとに主体的に行われ、包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業の運営を基礎とした業種別のセグメントから構成されており、「薬業」及び「不動産事業」の2つを報告セグメントとしております。

「薬業」は、医薬品、医療機器及び農業薬品の製造・販売を主とし、「不動産事業」は、文京グリーンコートの地代を主としております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	64,246	1,840	66,087	—	66,087
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	232	232	△ 232	—
計	64,246	2,073	66,319	△ 232	66,087
セグメント利益(営業利益)	10,950	1,086	12,036	—	12,036

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(自己株式の取得)

当社は、第2四半期連結会計期間において、平成22年6月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を4,500,000株、4,038百万円取得いたしました。

なお、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は10,289,712株、9,084百万円となっております。